

大阪府立たまがわ高等支援学校 平成 27 年度 第 1 回 学校協議会の概要

1. 日 時 平成 27 年 5 月 25 日 (月) 午後 1 時 30 分～3 時
2. 場 所 大阪府立たまがわ高等支援学校 会議室
3. 出 席 協議会委員 5 名 事務局員 9 名
4. 内 容
 - [I] 校長挨拶
 - [II] 出席者紹介
 - [III] 報 告
 - (1) 平成 27 年度学校経営計画について
 - (2) たまがわランドの取り組みについて
 - (3) 10 周年事業の取り組みについて
 - (4) 進路状況・進路指導について
 - (5) 生徒指導 (支援) について
 - (6) その他
 - [IV] 協 議

議事録 (抄録) ≪ 議事録中、●は協議会委員、○は事務局委員です ≫

[I] 校長挨拶

校長：4月に迎えた新入生の緊張がGWを過ぎ、和らいできたところです。一方、2・3年生では職場実習を前に、引き締めているところでもあります。今年は開校 10 周年、節目の年として、準備をすすめているところでもあります。至らないところもありますが、本年もご協力どうぞよろしくお願いいたします。

教頭：本日進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。(1)本校の経営計画についてお願いします。

校長：本校の経営計画について、意見交換の時間を確保したいので、短く説明します。

本校の創設につきましては、平成 16 年にスタートしました。大阪では当時、知的障がい者の就労率が全国でも相当低かったという事情がございました。本校は、知的障がい者の就労を促進することを目標に教育を進めて参りました。卒業生たちが良く頑張ってくれたおかげで、かなりの就労率を達成することもできております。たまがわ本校だけでなく、共生推進教室でも成果をあげています。その結果が、1校から4校・5校、同じタイプの学校：府立のとりにかい・すながわ・むらの、大阪市立のなにわの開校にもつながっていると自負しています。なお、共生推進教室につきましては、新校の開校にともなって、順次移管があり、入れ替わりで変化しています。本校には、

最終的に、枚岡樟風・金剛の2校が残ります。

現在の地域別の在籍状況を申し上げます。現在多いところは中河内地域です。以前は、豊能方面からも来ていましたが、各地域に高等支援学校ができたことで、在籍生徒の分布は変化しています。今後は、大阪東部、中河内を大事にしていきたいと考えています。

平成27年度の学校経営計画をご覧ください（本HP内別掲）。

めざす学校像「知的障がいのある生徒が就労を通じた潤いのある社会的自立をめざすチャレンジを支援する学校」「生徒の個別の特性・適性を正確に把握し、より適切で有効な支援をするために進化する学校」はずっと変わらないものです。本校は就労に特化した学校、目的がはっきりしている学校です。

中期目標は3年程度のものですが、こちらも今年はほぼ変化しておりません。たまがわランドの計画については、昨年から着実に進んでいます。

府市統合はなくなりましたが、支援学校では、大阪市立の学校が府に移管されます。高等支援学校も5校体制です。5校で協力して、支援学校生についての理解の促進・啓蒙を地域に根付いた活動を通して行い、就労へもつなげていきたいと考えております。

たまがわランドの運営につきましては、今年は試行です。校内の取組の中で、準備が先行しているところから実行に移します。

1つお願いがあります。本校の取組みの外部発信は、本校の大きなミッションで、府教委からも求められていることで、校長も企業団体などに、積極的に出向き、障がい者理解の促進や、障がい者就労にかかわる啓蒙活動をしており、HPの活用なども進めております。委員のみなさまや、保護者のみなさまも、HPをどうぞご覧ください。情報発信につきましては、事業所の学校見学なども積極的に行っており、主なものだけで、昨年は年間15回受け入れました。外部からの見学・視察は今年も積極的に行い、生徒の将来の就労にもつなげて行きたいと考えております。

教頭：次に（2）たまがわランドの取組みについてご説明いたします。

○：今年度から試行実施です。地域コミュニティとのつながりを考慮しながら、各分野できそうなところから、実施します。全校一斉の画一的な取組みではなく、分野などで、地域のみなさまに発信したいことを各々考え、取組みの候補をあげています。

地域のみなさまに、本校の様子を発信し、また地域のみなさまからもご意見をいただきたいと考えています。地域のみなさまのご意見を授業にも反映させたいとも考えています。

直近では7月18日に実施予定です。お時間ございましたら是非お越しください。

教頭：続きまして（3）10周年記念行事についてご説明いたします。

○：10周年事業につきましては、10周年の記念講演会・パネルディスカッション、研究紀要の10周年特集版、記念式典、たまフェス文化の部の拡大開催、学校案内パンフレ

ットの刷新などを行います。記念講演会・パネルディスカッションでは、以前文部科学省で個別の支援計画・指導計画の導入・実践を進められ、現在は豊能町の教育長でいらっしゃる石塚謙二氏の記念講演と、本校の就労を支えてくださっている方々と本校卒業生・保護者でのパネルディスカッションを予定しています。

また10周年の記念品として、PTAからは長胴太鼓2台を、たまがわ会からは、マイク・スピーカーなどをご寄贈いただきます。太鼓は3年生が毎年音楽の授業などで取り組んでいるもので、すべての生徒が利用するものです。現存のものに2台追加することで、一人ひとりがより充実した演奏活動ができるようになります。マイクなどは、本校の体育館での行事や説明会で活躍する予定です。

教頭：続きまして（4）平成26年度進路状況・平成27年度進路指導について進路よりご説明いたします。

○：7期生の進路状況をお話いたします。就職者できたものが多く、就労率は今年も高い状態です。内容としましては、事務補助・事務系が多く、スーパーなどは少ない目です。スーパー等のバックヤードが減りましたのは、求人が減ったのではなく、生徒を個々によく見て、丁寧にマッチングした結果です。共生の生徒も進路先がすべて決まりました。

次に今年度の進路指導の取り組みとして、進路ガイダンスや職場での実習についてお話します。

1年生は「働くことを学ぶ。働く側に立つ」をテーマに、2回の職場見学や講師を招いての勉強会などを行い、11月には1週間、職場実習に参加させます。

2年生は、6月・11月にそれぞれ2週間、全員を職場実習に参加させる予定です。

3年生は、ハローワーク布施の方から、現在の就労状況等の説明を伺ったあと6月の実習に参加します。ハローワークの方のお話を伺ったり、夏に求職者登録をしたりすることで、在学中から卒業後のバックアップ体制作りをしています。そして、9月以降はいよいよ就労をめざした実習へと進みます。

教頭：「何かご質問はございますか」「ないようでしたら、続きまして（5）平成27年度生徒指導について生徒指導主事よりご説明いたします。」

○：生活支援部の生徒指導主事です。生徒指導と生徒支援、今年は指導と支援のバランスもなお一層考えております。校内分掌部の再編で、生徒支援部と保健部が統合されて生活支援部となりました。生徒指導、社会的資質の養成をはじめとして、学校の中のことはすべて生徒指導です。イメージが強いのは問題行動のことかもしれませんが、安心・安全な学校、防災教育なども生徒指導・生徒支援です。

また問題行動も生徒の成長のチャンスと前向きにとらえております。問題行動が起きたときには、停学とかの登校させない指導を中心とするよりも、まず学校の中で、生徒の特性に応じた指導と支援をするため、じっくり話をすることから行っています。また支援教育は連携の教育です。外部機関との連携も大切にしております。

過去の事例をみれば、特に、感情・欲求のコントロールや、先を見通す力が課題となっていることが見受けられます。ネットマナーに反した書込みをしたり、不適切な画像をUPをしたり、ラインなどでのトラブルも増えています。現在の生活支援部では、そういった課題や問題行動への指導・支援に力を入れています。

問題行動への対応では、保護者との連携は勿論ですが、連携機関、例えば子ども家庭センターや出身中学校などとの連携も大切です。本校では、一貫性のある支援を行うためにも、地域や市役所・各支援機関などとの連携を大事に考えています。問題事象についても同じです。サポートセンター、保健センター、警察などとの情報交換・連携を大切にしております。

最後に、いじめについてです。本校でも「学校いじめ防止基本方針」を作り、いじめ防止を行うとともに、発生時の対応についても備えております。基本方針は大阪府の方針を踏まえたもので、本校の実情に合うよう工夫してあります。内容はHPにも掲載しておりますので、行動計画などどうぞご覧ください。

教頭：「何かご質問はございますか」

教頭：「それではただ今から協議に移りたいと存じます。議事進行を乾様をお願いしたいと思います。どうぞ、どなたからでもご自由にご発言をいただいて結構です。活発な意見交換をお願いいたします。」

< 質疑・応答及び協議、内容によっては事務局担当者が説明する。 >

●：ご説明あったところ、ご質問とかございませんか。

学校経営計画など2、いかがでしょうか。

●：経営計画裏面、情報の発信の充実。大切。充実させてほしい。保護者がHPを見るように取り組んで欲しい。

●：学校訪問の受付の数等の数値は？

校長：15は控えめな数字です。昨年度は30以上の訪問等がありました。今年も多くなると思われます。

●：訪問者の共生推進についての問合せの内容はどのようなことですか？

校長：インクルーシブのことが質問されます。大阪は全体的に取り組みが進んでいますので、先進である大阪への問合せの一環として、本校へも外部からの訪問や質問がたくさん来る様子です。

具体的には、共生推進について「どういう学校ですか」「どんな組織、職員構成ですか…」といった質問が他府県から多数あります。たまたま本校のことより、共生推進の仕組みについての質問が多くあります。共生推進については、もう大阪だけの取組ではありませんが、実際に取り組んでいるところはまだ少ない状況です。また、高等学校の自立支援コースは、まだ大阪だけのようですが、他府県でも広げたい様子が見

えます。

- ：大阪には多様な受入れ体制があるわけですが、なぜ、このように多様な学校・課程があるのですか。やはりニーズがあるからですか。

校長：ニーズは今も緩やかに増えています。支援学校のキャパは、むらの高等支援や西浦支援も開校してある程度確保されました。高等支援や共生推進教室なども増え、障がいの種別だけでなく、いくつかの種類からの進路選択ができるようになったことは大きな意義があります。

- ：ところで、大阪市立のなにわ高等支援も開校しました。受験について、大阪府・市は相互に受験可能になりますか。

校長：次年度はまだ府・市、別々です。やがてはわかりませんが、なにわとは通学区域が重なります。お互い切磋琢磨が必要だと思っています。

☆中断：「販売」という授業の一環で生徒来室。飲み物の注文取り。

- ：中期的目標は昨年とは大分変わっていますが、優先順位はどうなっていますか。

校長：大きく変わったところでは、自立活動の充実です。授業を 50 分から 45 分にして、朝と終わりの自立活動の時間を充実させました。また、終わりの時間を早くすることで、部活動・生徒会活動も充実させました。従来からも 7 割程度の生徒が部活動に参加していますが、活動時間を確保することで、より内容を充実させ、参加者も増やすようにします。

- ：変更点・重点項目などは、分かりやすく書いて欲しい。

校長：わかりました。

- ：45 分授業については、前にも論議しましたが、始められて実際のところいかがですか。

校長：全般的には良い効果があがっていますが、問題もあります。やはり時間が窮屈です。各授業とも従来のおりとはいきません。2～4 時間連続の専門の授業では、工夫の余地も大きいので影響は少ないですが、実技系の一般教科では窮屈です。例えば、美術・体育などがそうです。準備・後片付けの工夫をして、中身の時間を確保しようとしています。

校長：朝・帰りの自立活動の取組についても、担任が苦勞・工夫しているところです。例えば振り返りシートなど、様々なツールも使って個々の生徒の現状把握をして、必要な課題の提示と適切な指導の実行に努めています。各生徒の長所・短所や障がい特性などを踏まえて、個別の課題をしっかりと捉えることで、単に就労させるだけでなく、定着もめざして取組んでいるところです。

- ：それらの取組については、資料なども目に見える形になっていますか。

校長：先進的な担任の工夫など、ファイルやデータに残したり、研修もしたりしています。

○：夏休み期間中に自立活動にかかる研修などを行う予定を組んでいます。

- ：たまがわランドの進捗状況はどうですか。

- ：参考になるところへの見学には、もう行かれましたか。

校長：はい。去年は道の駅に。今年は高校生レストランを見学します。また最近、京都の高等支援学校の様子も見に行っていました。そこでは、たまがわランドに近い内容のこともなさっているので、10人ほどで見学させていただきました。

☆中断：販売生徒、飲み物サーブ。

●：たまがわランドの試行は、園芸分野からですか。

校長：はい。園芸の取組状況は早いです。7月18日の土曜日から始めます。

●：私たちは、支援学校でどのように教えていらっしゃるのかにそもそも興味がある。教育そのものを見ていただくのもいいのでは。

園芸といえば農地が必要ですが、ある大学が800坪の農地を買ったと聞きました。農地は宅地に比べれば安いですよ。企業が投資して農地を買って、学校にも農地を使わせてもらうような取組はできないでしょうか。セミナーハウスと農地、畑作り。そんな取り組みも面白いのではないかと思います。

また市との連携も密にして欲しい。自治会も市との関係が深いので、市を巻き込んでくださると協力しやすくなる。

生徒を支援しながら育てられること、難しいと思いますが、よろしく。

校長：ご支援、よろしくお願ひします。

●：出資してくれるところを、探さない。

●：農地はいいですね。

●：花づくりなどもいいと思います。成功すると思います。

●：発達障がいの方に特化した就労移行をしているところで農業に取り組んでいるところがあります。PC関連などのお仕事をされていますが、そればかりでは感情のコントロールが難しい。そこで、農業にも取り組んでいらっしゃる。いい切替になると聞いています。農業、良いと思います。

●：園芸の販売は、校内で作ったものですか。

校長：校内の農園で作ったものです。ただ、皆さんに販売するには、少し足りない。どこか借りられたらと探しているのですが。

●：たまがわランドは、年間通じて何回かのイメージですか。また、土・日ですか。

校長：今回は土曜日ですが、本来は通常の稼業時間にしたいと思います。4時間連続の授業時間の中でと考えています。学校では土曜日は、本来は難しい時間です。例えば、学校全体の行事ではないので、生徒も教員も代休がとりにくい。

●：第○、○曜日とか決めていただいたら来やすいのですが。またものが良ければ、口コミで広がります。

校長：定例が良いのはそのとおりですが、それは、学校のカレンダーの中では難しいことなので、今回は○月○日とPRする方向で取りまとめ中です。

●：10周年について、PTAやたまがわ会はどう取り組まれていますか。

●：前々から10周年をめざして何かをと考えていました。10周年のときには何がしかをと

思っていました。会は入会金 3000 円で運営し、情報交換会や障害基礎年金の申請についての学習会などを行っています。

●：石塚先生はすごい方です。どうして、豊能町にいらっしゃるのですか？

○：聞きたいですね。

●：パネルディスカッションのメンバーは？

○：具体のメンバーをあたっているところです。卒業生にもあたっています。

●：卒業生はどのくらいになりましたか。

校長：7 期生が出たところです。まだそれほどの数ではないとも言えます。

●：進路、就労先について、事務補助が多い。なるほどと思います。特例子会社の大阪支社など、たまがわの卒業生に適性のあるところだと思います。

○：卒業生がしている事務補助は、PC：excel への打ち込みやオフィス内の軽作業などが多いです。

校長：資料では未定の 2 人も、実は縁故で仕事を見つけています。

●：すぐやめてしまう。定着しないは、会社の不徳とするところとも思っています。

●：要はマッチングですね。

●：ところがそれが難しい。夏休みにアルバイトで来ていただいたりして仕事を見てもらい、保護者や学校の先生とも確認をしたのに、入社後すぐおやめになる方もいる。

●：量よりも、働く方の質の時代とも言えますね。

●：就労支援 A 型はどうですか。最近すごく、増えていますね。ただ、きちっとしたところだけでなく、悪しき A 型も出て来たようですね。

●：うちの子どもは、A 型です。懇談とか行事とかの他に、日々の連絡帳とかでも細かく丁寧にしていただいています。

●：それはよかった。それが本当ですね。ところが急増している A 型の中には、悪しきところも混ざっています。本来の各利用者への支援がおざなりのところがあります。

●：農業されている A 型もありますか。

○：あります。農業のほか、墓地の清掃などもやりながら、次の就職先を探して頂いています

●：あるべき姿ですね。

●：たまがわに不登校はいますか。また、課題は。

校長：不登校は、各学年 1～2 名はやはりいます。中学校以前から不登校であった方が多く、難しい課題です。

生徒の問題事象は、暴力力行為は少ない。小競り合い程度です。しかし、ラインなどが悩ましい。

●：地域が狭くなってきて、たまがわの性格もまとまってきたのでは？

校長：中学校へも、本校の様子が、一定浸透してきたのではとも思います。

教頭：それでは、時間も長くなってきておりますので、そろそろ終了したいと存じます。

閉会に際しまして、校長がお礼申し上げます。

校長：お忙しいところ、本当にありがとうございました。今年は、昨年の大きな改革の実効・定着を図る年です。どうぞよろしくお願いいたします。

教頭：これを持ちまして、平成 27 年度第 1 回学校協議会を終わらせていただきます。